

たかとり

社協だより



編集・発行

社会福祉法人 高取町社会福祉協議会

〒635-0154 奈良県高市郡高取町大字観覚寺990番地の1

電話 0744-52-3865 (直通)

FAX 0744-52-3819

平成27年4月発行



もくじ

◇大字自慢【田井庄編】	1p
◇大字自慢【車木編】	2p
◇赤い羽根共同募金のお礼	3p
◇住みよい地域づくり支援事業	3p
◇赤い羽根共同募金のつかいみち	4p
◇『もの忘れ相談プログラム』贈呈	5p
◇第1回シニア元気フェスタ開催	6p
◇地域生活支援協議会の取り組み	7p
◇配食サービス・心配ごと相談	7p



第8回私の大字自慢

シリーズでお届けしています“私の大字自慢”。高取町内 24 区の区長さんに大字の自慢話をしていただくページです。あんなこと、こんなこと、あらためて発見できるかも!?

田井庄編

区長さんの紹介



◎お名前 やまだ たかよし 山田 高福さん

◎趣味 野球観戦すること

◎区長さんの貴重な体験を教えてください。



平成 20 年 10 月 23 日天皇・皇后両陛下主催の秋の園遊会に日本消防協会 役員として招待され出席。左の写真は日本消防協会の片山虎之助会長（当時）と東京赤坂御所にて。

○田井庄ってどんなところだったんですか？

平安時代末期、平家の所領だったころ「田井」と称され、庄屋もあったことから、田井庄村となったようです。

嘉永6年（1853年）4月、吉田松陰が田井庄の藤井隆菴・森哲之助を訪ねたことが記録に残っています。

昭和15年頃の戦時中は近くに育成小学校もあることから、大阪から疎開してくる子供たちで1学年100人以上になったこともありました。薩摩と市尾の間にある八幡神社は今から150年前に応神天皇をお祀りするために拝殿と鳥居が建てられたと言われています。この神社では毎年秋に収穫感謝祭を開催し、各家のお孫さんやご家族が帰ってきてみんなで参加するので、普段は閑散とした神社が活気付き田井庄が1年間で一番賑やかに盛り上がるメインイベントとなります。この八幡神社の隣の宮池では、戦時中は水を抜いて掃除する際、フナやコイをとってみんなで分けて食べたりしていました。

○田井庄の公民館はお寺??

現在の田井庄の公民館はお寺と兼用しています。今から20年位前に勸光寺が老朽化し、建て替えが必要になり、その際、地域のみなさんにも公民館としても利用できないかと寄付を募り、約1千万円集めて、勸光寺兼公民館として新たに建て替えました。

《私、取材人。中に入れていただきました。》

外観は普通の公民館。でも看板は「田井庄公民館」と「勸光寺」の2枚。玄関へ入ってもお寺の雰囲気はゼロ。最初の襖を開けても普通の公民館。看板だけお寺を掲げてるのかなあと思ったその時、奥の襖を開けるとそこには立派な御堂が!間違いなくお寺です。全国でもお寺を公民館として?公民館をお寺として利用しているところは珍しい様。この建物は某テレビ番組の珍〇景に投稿したくなるような不思議な空間でした。

○これからの田井庄について

田井庄の住民のほとんどは2人暮らし。1人暮らしが2軒。子どもも少なくあと10年もすれば1人暮らしも増え、空き家も増えてくると思います。

何とかしなければと思いますが、若い人たちが都会の方へ出ていくという時代の流れもあるので仕方がない部分もあるのかなあと思います。

しかし、たとえ一人暮らしになっても安心して過ごせるように、近所同士の結びつきや相互の助け合いができるように今後も地域の皆さんと協力していきたいと思っています。



八幡神社



田井庄公民館・勸光寺



明治時代の立派な大鑪（だいぎん）

勸光寺のご本尊

第9回私の大字自慢

車木編

区長さんの紹介



◎お名前 おかもと かつひこ 岡本 尅彦さん

◎趣味 ドライブ、スポーツ観戦

◎人生の大きな出来事

Uターンして町の仕事をさせていただいたこと。

◎夢はなんですか。

すべての人が楽しく生き生きと暮らすこと。

○車木ってどんなところですか？

車木は平安時代には春日大社の文書に越智庄とともに車木庄としてあらわれています。越智岡丘陵の西端麓と曾我川の間であり、町道兵庫車木線の両側路村で町になっています。高取町の最西端に位置し、北は橿原市一町を経て橿原神宮へ、西へ向かえば御所へ、東は土佐へと通じる交通の要衝にあたり、街道集落として栄えてきました。また、JR和歌山線掖上駅が数百メートルにあり、奈交バス近鉄御所駅・橿原神宮前駅を結ぶ中間に位置し、今も昔も交通の要となっています。



華厳寺の桜

江戸時代には質屋、道具屋等の金融業者や二人の医師が開業していたとの記録が残っています。また山に入って木を伐り、加工して柱や板に加工する高取町唯一の杣組頭がいました。このように車木では耕作より商工業に重点をおくようになりました。しかしながら、昨今の生活様式と交通機関の発達、経済活動の変貌に伴い、商工業は衰退の一途をたどり、数件を残すのみとなっています。江戸時代末期の約50世帯210数人が現在は80世帯215人となり、1～2人世帯が約半数を占め、高齢者比率は45%となっています。町内でも真っ先に限界集落になるのではと危惧されます。これは農村にありながら早くから高学歴化が進み、大都市に仕事を求めざるを得なかったことに由来しているのではないかと思います。

○車木のすごいところ！

地名の伝承としての斉明天皇の御陵は残念ながら別の場所の説が有力ですが、現実に陵墓として現存するというのを大事にしていきたいです。また車木では、七夕、地蔵盆、八朔は一月ずらしてそれぞれ8月7日、8月24日、9月1日です。季節感に合わせた伝統です。秋祭りも10月15日に拘っていました。古い良き伝統を大切にしながら、新しい伝統を作っていくという気運があります。先日も町観光協会の助成を得て、自警団と光雲寺様の協力により斉明天皇陵と光雲寺を結ぶ遊歩道が整備されました。途中の岡村印刷の展望台も一緒に整備していただきました。

皆さん是非一度散策しに車木へお越し下さい。

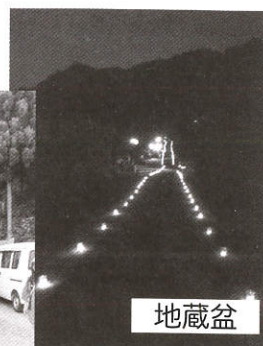
○これからの車木について

若い人に帰ってきて住んでもらえる町にしていきたい。それには今自治会が進めている「安全・安心の町づくり」を徹底しなければと思います。

あらゆる差別をなくし、すべての人が楽しく一緒に住み、「住んで良かった」と言えるようにしたいです。幸い自警団を中心とした若い人たちが、自発的に村内美化や自治会のイベントに参加していただいています。



秋祭り



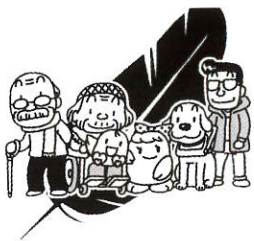
地蔵盆



遊歩道



斉明天皇陵



赤い羽根共同募金に ご協力ありがとうございました！



「たかむち小学校からの募金」



「高取中学校からの募金」



「街頭（店舗前）募金」

平成 26 年度
募 金 総 額

一 般 募 金 1,756,189 円
歳末たすけあい募金 849,856 円



皆様から寄せられた募金は、高取町内の高齢者福祉活動、児童青少年福祉活動、障害者（児）福祉活動、住民全般を対象とする福祉活動など地域に役立てられています。



赤い羽根共同募金による

『住みよい地域づくり支援事業』

助成金交付事業決定！



昨年、「住みよい地域づくり支援事業」助成申請の募集に9団体の応募がありました。

	団 体 名	事 業 名
1	わくわくエンジェル	育児サークル わくわくエンジェル
2	NPO 法人住民の力	地域の居間づくり
3	天の川実行委員会	第 10 回町家の雛めぐり
4	NPO 法人 A & J 日豪国際友好親善協会	楽しい英会話レッスン、Coming Home
5	高取町ボランティア団体連絡会	認知症予防及び早期発見の周知徹底事業
6	観覧なかよし広場	ジャンボ雛作成
7	上子島老人会	ジャンボ干支雛づくり
8	高取町防犯ボランティア連絡協議会	防犯カメラ設置事業
9	高取町観光協会	たかとり城まつり

12月の共同募金委員会運営委員会で審査されました結果、“高取町の住民自らが参加する地域福祉コミュニティの実現につながる活動である”と認められ、助成金が交付されることになりました。来年度も同様、公募する予定ですので、関心のある方はお問い合わせください。

◆問い合わせ先：高取町共同募金委員会 事務局 ☎ 0744-52-3865



高取町共同募金のつかいみち



◎高取町内の皆さまにご支援、ご協力いただきました募金は、7割が町内で役立てられています。その一部を紹介させていただきます。



♡ ひとり暮らしの高齢者の皆さまが、日々お元気でお過ごしになれるように、と民生児童委員の皆さまが心を込めて手作りして下さった“魔除けになる京手まり”をプレゼントされました。

(材料費を共同募金より助成)



♡ 10/8 高取町老人クラブ
連合会主催『健民グラウンド
清掃ボランティア活動』へ今年も多くの皆さまが参加し、皆が気持ち良くグラウンドを使用できるようにと汗を流して下さいました。
(お茶などを共同募金より助成)



♡ 高取町青少年育成協議会より万が一の被害に備え、『たかとりこども 110 番』の旗を小・中学生の通学路周辺の家々に配布されました。この旗はこどもが登下校中などで不安を感じた時、駆け込む目印になるとともに、児童を保護し警察や家族等へ連絡してくれる子どもの犯罪被害の未然防止を目的として普及の促進に力を入れています。

(旗作成費の一部を共同募金より助成)

♡ 防犯ボランティア連絡協議会では防犯カメラ設置補助事業として、地域団体が行う安全なまちづくり活動を促進するため、防犯設備面から支援することにより地域の見守り力の向上を図ることを目的に実施しました。

～防犯ボランティア連絡協議会より～

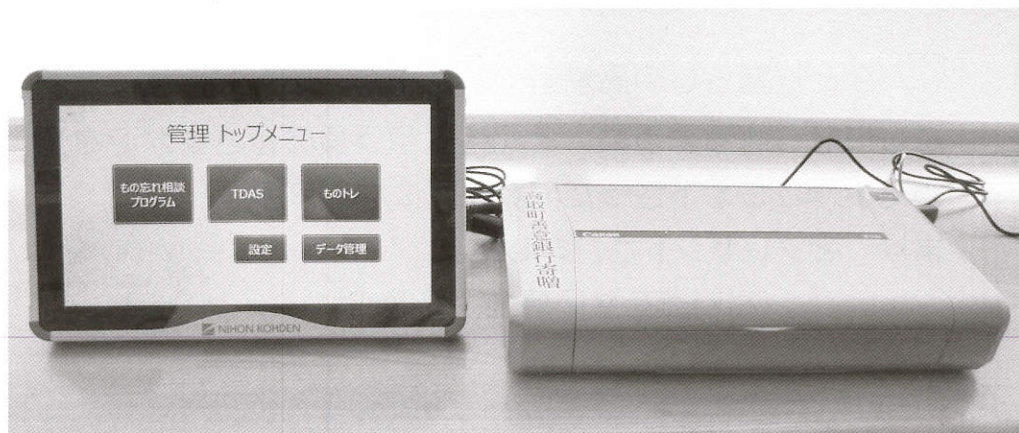
この事業に関して多くのお問い合わせをいただきありがとうございました。残念ながら予算の都合上、ご希望に添えなかった団体へは、この場をお借りしてお詫び申し上げます。今後とも地域の安全にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。



S Dカード録画機能内蔵カメラ
(防犯カメラ・取付工賃一式を共同募金より助成)

高取町善意銀行より地域包括支援センターへ 『もの忘れ相談プログラム』の贈呈

平成26年8月、高取町善意銀行より『もの忘れ相談プログラム』が地域包括支援センターへ寄付されました。『物忘れ相談プログラム』とは、アルツハイマー型認知症を早期発見するために開発された機器です。



鳥取大学医学部浦上克哉
教授が開発されたタッチ
パネル式
『物忘れ相談プログラム』

町内の高齢化に伴い、住み慣れたまちで元気にいきいきと過ごすことができるように、まずは健康管理や加齢による心身機能の低下に対し、対策を講じなければなりません。中でも認知症はご本人のみならず、ご家族にも身体的、精神的、経済的な負担が掛かります。そこでこのような機器を用いて、軽度認知障害（MCI）の段階での早期発見を行うことにより、適切な生活習慣や簡単なトレーニングに努めれば、認知症になりにくかったり、進行を遅らせたりできる可能性が高まると言われています。是非、ご家族のためにも1度体験されてみてはいかがでしょうか。

☆高取町善意銀行とは・・・

町民の皆さんからのあたたかい善意のご寄付をお預かりし、高取町にコミュニティバスを寄贈したり、災害のお見舞金や町内の福祉など支援を必要とされる方のために活用させていただいております。これからも引き続き善意銀行の趣旨をご理解いただき、町民の皆さんのあたたかいご支援とご協力をお願い申し上げます。

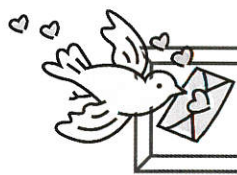
善意の窓口：高取町善意銀行
事務局（高取町社会福祉協議会）



贈呈式が行われた後、
早速頭取（町長）が
体験されました！

頭取の“もの忘れ相談プログラム”初検査は役員の皆さんの注目を受け、緊迫した空気の中始まりましたが、頭取のとられるリアクションの大きさに場が和み、終始にぎやかに行われました。もちろん、皆さんが体験される時は1人ずつ個別に行われ、プライバシーは厳守されますのでご安心くださいね！

ご相談・お問い合わせは地域包括支援センターまで
☎ 0744-52-5531



高取町ボランティア団体連絡だより



当会は、町内の高齢化に伴い“健康寿命の延伸”に重点を置き、できるだけ健康で自立した日常生活が送れるよう健康増進、発病予防に努めなければならないと考えています。

特に、『認知症』に関しては、団塊の世代が、全て75歳以上となる10年後の2025年には5人に1人が認知症になると言われています。当会は、11月9日に“シニア元気フェスタ”と称し、『認知症』への理解と予防をテーマとしたイベントをリベルテホールで開催しました。



大ホールでは、ギタリスト中山将章氏のクラシックギターコンサート（左）と奈良市音楽療法士の方にご指導いただきながら、昭和の映像とともに懐かしい唱歌や流行歌を合唱する歌声広場（右）を開催しました。



高取町地域包括支援センターはタッチパネル式『物忘れ相談プログラム』（⇒P5 参照）を使用し、アルツハイマー型認知症の疑いを早期発見することができる体験コーナーを実施しました。

アロマセラピストによる、アロマの香りで認知症の予防・改善ができることを紹介。アロマに関する個別相談や、認知症予防効果のあるコーヒーを提供。ハンドマッサージも老若男女に大人気でした。



第1回 シニア 元気 フェスタ 報告！



A & J 日豪国際友好親善協会が『英語で遊ぼう！』と題して、簡単な英語を使ったゲームを開催しました。2か国語以上の言語の習得は認知症の進行を遅らせたり、脳トレにも効果があると現在注目されています。



はつらつ倶楽部による『運動と認知トレーニング』を実施。自宅でも出来る、器具を使わずに自分の身体を利用して行う、自荷重運動などを紹介。皆さん、継続は力なりですよ～。



町老人会は『シナプソロジー』を実施しました。シナプソロジーとは簡単にいうと脳を刺激しながら手や足を動かして行う簡単なエクササイズです。実は今、密かなブームになっているようです！

地域福祉権利擁護事業について



- (内容)
1. 福祉サービスの利用援助
 2. 日常的な金銭管理サービス
 3. 書類等の預かりサービス



《対 象 者》

町内で在宅生活をされている、認知症・物忘れなどで判断能力に不安がある高齢の方、知的障害、精神障害のある方。

《必要な手続き》

社会福祉協議会までご相談ください。相談や支援計画の作成後、契約を結んでいただきます。契約締結後の生活支援員による援助については有料になります。

～高取町社会福祉協議会主催～

『みんなちがってみんないい。みんなで支えたい大切な子ども達』

平成27年3月3日(火)、高取町保健センターで「発達障害のある子どもをつつむナチュラルサポート」をテーマに研修会を実施しました。発達障害は理解されにくい障害ですが、すぐれた能力が発揮される場合もよくあります。



そのためには、周囲の理解や適切な支援、環境が必要です。今回は古川先生(畿央大学)より障害の理解や具体的な関わり方のヒントなど多くのお話をいただきました。



給食サービス

4月28日(火)

毎月、民生委員さんが一人暮らしの高齢者の方を対象に見守り活動を兼ねた給食・配食サービスを行っています。



おせち配食サービス



心配ごと相談日

4月22日(水) 一般相談

◇時 間 午後1時～4時

◇場 所 高取町老人福祉センター



各大字の民生委員さんがあたたかいお正月を迎えて下さるようにと、※一人暮らしの高齢者の方や高齢者夫婦(75歳以上)の方々に、平成26年12月31日に、お節料理をお届けしました。(※対象は民生委員さんがおせち配食を必要と認めた方)